

③教育の未来

教育の未来					
施策の基本方向/施策の体系		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D
1. 安心して育てることができる子育て環境の充実	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. 地域づくりと一体となった学びの環境と機会づくり	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	9	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

- ・ 9の施策の体系すべてが順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 「2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実」において、ICT教育など学校における教育環境の充実はもちろんのこと、コミュニティ・スクール活動に見られる学校と地域の連携による先進的な取組みが高い評価につながっている。
- ・ 「1. 安心して育てることができる子育て環境の充実」において、子育て支援に関する様々なサービスを展開しているが、対象となる子どもの数は減少している。

1. 安心して育てることができる子育て環境の充実

施策コード	P3101	
評価	施策の体系	施策の方針
A	①身近な地域で安心して子育てができる環境づくり	・多様な保育ニーズに応じた保育サービスの充実を図る ・妊娠・出産・子育てを支援し安心して生み育てられる環境をつくる
■主な事業		■主な成果
福祉課	放課後児童健全育成事業、病児・病後児保育事業、地域生活支援事業（障がい児タイムケア事業含む） 【再掲】、子どもを生み育てやすい環境の創出・子育て支援事業（延長保育・障がい児保育・軽度障がい児保育事業）、ひとり親家庭等医療費助成事業、こども医療に関する助成事業、児童虐待防止体制強化事業、すこやか赤ちゃん出産祝い金支給事業、保育料助成事業（多子世帯子育て支援事業）、子育てワンストップサービス整備事業、子育て世代包括支援センター事業の推進、就学前特別支援員事業	放課後児童健全育成事業では、竜北西部学童保育所の専用施設整備を完了し、3つの学童保育所の専用施設整備が完了した。 延長保育・障がい児保育・軽度障がい児保育事業は全保育施設において実施。多様なニーズに応じた保育サービスを実施しているが、少子化に歯止めがかからず、すこやか赤ちゃん出産祝い金事業の申請件数も減少している。
町民課	母子保健事業、産前産後ホームヘルプサービス事業	母子保健事業では、乳幼児の成長・発達状況や母親の育児等の状況を確認。生活指導及び子育て支援に関する情報を提供しており、乳児家庭の訪問率は100%となっている。
学校教育課	給食費助成金事務	食材の高騰による保護者の負担を軽減と安心安全な給食の提供を継続するため、氷川町産米価差額補助金に加え、令和4年度から学校給食費補助を実施した。
■課題		■次年度への展開
【福祉課】子育て支援施策のみでの子ども数の増加は限界があり、住む場所、働く場所、子どもを育てる場所づくりが急務である。 【町民課】多様化する育児環境や生活背景に応じたサポートが必要。 【学校教育課】給食費補助制度の拡充を含めた検討が必要。		【福祉課】令和5年9月から3歳未満時の保育料無償化（副食費のみ徴収）を実施。子ども家庭センターの令和6年4月設置に向け事業を展開。 【町民課】乳児訪問時の指導内容について、対象者のニーズに合わせ見直しを図る。 【学校教育課】国・県の動向や他自治体の取組を注視しながら、制度の継続について拡充を含めた検討を行う。

施策コード	P3102	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②地域で子育てを支えるための組織・ネットワーク・人材づくりと活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の中で子育て支援活動の充実を支援する ・子育て支援センターの継続や機能の拡充を進める
■主な事業		■主な成果
福祉課	地区まちづくりにおける子育て活動支援（地域及び関係機関との連携）、地区で子育てを支える人材の育成、機能の充実（子育て世代へ学びの機会の創出）	コロナ禍により、世代間交流会の中止や、子育て支援センター利用者が減少している。
■課題		■次年度への展開
コロナ禍後の子育て支援センターへの利用者をどのような仕掛けで増加させていくかが課題である。		令和6年度子ども家庭センター事業の実施に伴い、子育て支援センターと一体的に事業展開していく。

施策コード	P3103	
評価	施策の体系	施策の方針
B	③子育ての基本となる家庭教育力向上のための保護者との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育力を高める活動の充実を図る
■主な事業		■主な成果
生涯学習課	P T A活動支援事業、家庭教育支援事業	町P T A連絡協議会の共通取組として「家庭教育の充実」を掲げ、家庭教育支援のための資料（家庭学習や生活習慣のポイントやチェックリストをまとめたリーフレット）を作成し、各小中学校の家庭に配布した。
町民課	母子手帳交付時の保健指導	母子手帳交付および妊婦健康診査受診票の交付時に、妊娠期からの健康管理について妊婦が正しい知識を習得することを目的に保健指導を実施。
■課題		■次年度への展開
【町民課】低出生体重児や早産児が同規模自治体と比べ割合が高い。個々に応じた継続的な支援が必要。		<p>【生涯学習課】家庭教育支援事業について、コミュニティ・スクール（CS）との連携も視野にいれていきたい。</p> <p>【町民課】妊娠期の健康課題を明確にし、妊婦が正しい知識を習得し易いようポイントを絞った指導内容の組み立てを行う。</p>

2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実

施策コード	P3201	
評価	施策の体系	施策の方針
A	①子どもの心と体を鍛える特色ある学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育の目標を確立し、住民で共有する ・基礎学力向上のための教育プログラムの充実を図る ・体験型の実践的な教育機会の充実を図る ・教育相談機能、特別支援教育の充実を図る
■主な事業		■主な成果
学校教育課	「氷川っ子ビジョン」の推進、次世代育成推進フォーラムin氷川町、指導主事の導入による教育の充実、「ひ・か・わ」型学習推進事業、小・中学校における外国語教育の充実、幼・保、小、中の連携強化、少人数、TT（ティームティーチング）授業、小学校学力向上対策、教育相談事業、特別支援教育事業	指導主事の継続配置による会議・研修等での役割明確化により、教育の充実と学力向上体制の強化が図られ、学力向上につながった。中学3年生の英語検定の受験料を全額補助としたことで、検定受験者数並びに合格率も向上した。教育相談機能の充実として、中学校への教育相談員の配置に加え、令和4年度に教育支援センターを新設、センター長及び相談員1名を配置した。
生涯学習課	宿泊通学体験事業	宿泊通学体験事業は自然の中で共同宿泊や炊飯などを行う貴重な体験の場となっているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い令和2年度から令和4年度は事業中止となった。
■課題		■次年度への展開
<p>【学校教育課】各事業とも着実に継続実施されており特記なし。</p> <p>【生涯学習課】宿泊形態の事業であるため、コロナ禍での実施が困難。</p>		<p>【学校教育課】地域との連携強化のための人材の発掘と育成、地域の団体や事業所との連携協力体制の構築を進める。中学校の他学年でも英語検定受験料の全額補助を検討。全学年での英語検定、受験率、取得率の向上を目指す。特別支援教育では、児童生徒の幅広い特性に対応するため、支援員の研修充実に合わせて増員も検討する。</p> <p>【生涯学習課】コロナ禍での実施方法を検討。また、体験事業実施後にジュニアリーダーの活動を知ってもらう場につなぎ、ジュニアリーダー参加者の増加を目指す。</p>

施策コード	P3202	
評価	施策の体系	施策の方針
A	②学校教育に関わる地域の参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境や人材を活用した体験学習の充実を図る ・地域の人材を活用した授業・部活動の充実を図る ・「地域とともにある学校づくり」の推進を図る

■主な事業		■主な成果
学校教育課	中学校における体験学習、小学校における体験学習、小・中学校「総合的な学習の時間」の講師活用事業、中学校部活動指導員推進事業、小・中学校コミュニティ・スクール推進事業、地域での子どもの居場所づくり、子どもたちへの防災教育の推進	本町のコミュニティスクールと地域学校協働活動による一体的な取組みについて、令和4年度に県よりモデル地域指定事業の委嘱を受け、氷川町CSの日の取組みを公開。県内外から高い評価を受けた。各中学校におけるキャリア教育の一環として実施される職場体験学習、農業体験学習、物品販売学習など充実した体験学習の実践により、高い教育的効果を得ることができた。持続可能な中学校部活動の環境整備を進めるため、土日における地域移行に向けた準備委員会を開催した。
生涯学習課	地域学校協働本部事業	学校、地域、地域学校協働活動推進員との連携により、多様な形態の学校支援を行うことができた。コロナ禍で減少していた学校支援活動の件数も令和4年度から増加傾向にあり、家庭教育支援の内容も充実してきている。
■課 題		■次年度への展開
【学校教育課】地域とともにある学校づくりをさらに発展させ継続していくため、人材の発掘と育成が必要。 【生涯学習課】地域学校協働活動推進員の育成や人材の発掘。		【学校教育課】【生涯学習課】施策推進に向けた効果が表れていることから、各事業における取組みを継続する中で、人材の育成と発掘を進める。

施策コード	P3203	
評 価	施策の体系	施策の方針
A	③地域に密着した教育施設の充実と各種教育機関の間での交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育活動を支える学校施設、設備の充実を図る ・地域との交流活動を踏まえた教育施設の充実を図る
■主な事業		■主な成果
学校教育課	ICT教育推進事業、小・中学校空調設備整備事業	小中学校空調設備は令和元年度に整備完了。学習用タブレットは、令和4年度に小中学校283台の更新を実施。令和2年度と合わせて全ての更新が完了した。
生涯学習課	八火図書館管理（サービスシステム）充実事業、八火図書館振興（イベント）充実業務	図書館利用促進のため、読み聞かせや文学散歩、本まつりを開催。本まつりでは、多読賞、読書感想文、感想画の表彰を実施している。また、他自治体の図書館等と連携し、互いに足りない蔵書を補う相互貸借に取り組んでいる。
■課 題		■次年度への展開
【学校教育課】学習用タブレット更新にかかる予算の確保。 【生涯学習課】利用者のニーズを踏まえた図書館資料の収集。		【学校教育課】学習用タブレットの更新計画を共有し、国県の財政支援の動向を注視しながら安定的な財源確保を目指す。 【生涯学習課】図書館利用の促進と読書意欲の高揚を図るイベントを開催し、「地域住民の方が気軽に立ち寄れる図書館」「学校とのつながりを大切にする図書館」を目指す。

3. 地域づくりと一体となった学びの環境と機会づくり

施策コード	P3301	
評価	施策の体系	施策の方針
B	①地域・学校・家庭が一体となって、幼児から青少年まで一貫して子どもの健全育成を見守る地域の環境と体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダー活動の活性化 ・子ども会活動の活性化 ・子どもが活躍できる環境づくり ・子どもの健全教育を見守る組織の充実
	<p>■主な事業</p> <p>生涯学習課</p> <p>ジュニアリーダー・シニアリーダー育成及び活動機会の充実、子ども会活動活性化支援事業、子ども会運営改革の検討、子ども会地域交流事業、子どもが活躍できる場づくり、青少年育成町民会議活動支援事業</p>	<p>■主な成果</p> <p>町子ども会育成連絡協議会において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により子ども会としての活動が難しい中、地蔵祭りに代えた地蔵様を作る陶芸教室や、三神宮秋季大祭では宮原小学校の6年生で希望者を募り30名ほどで神輿行列に参加するなど、子どもたちの活動の機会づくりに取り組んだ。他団体との共催事業では、クリスマスケーキ作りなどなるべく多くの子が参加できるように分散して開催するなど配慮。子ども会大会では、ジュニアリーダーが企画・準備から当日の運営まで担う取組みを展開した。</p>
	■課題	■次年度への展開
	子ども会育成連絡協議会への加入地区数減少。	子どもたちが企画、ジュニアリーダーが運営するような活動増加を応援し、子どもたちの活躍の場を増やすため、できるだけ多くの事業を実施する。

施策コード	P3302	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②地域の特色ある自然環境、まちづくりを活かした体験・交流機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な交流機会の充実 ・まちづくり活動への子どもたちの参加機会の充実
	<p>■主な事業</p> <p>生涯学習課</p> <p>ふれ愛スタディ研修交流事業（中学生交流）、放課後子ども教室、ふるさと学習による子どもの地域行事への参加促進</p>	<p>■主な成果</p> <p>友好町である北海道大空町との訪問交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年度以降中断。令和4年度は代替としてオンライン交流事業を実施した。ふるさと学習を学校の授業や公民館講座、コミュニティ・スクール主催の講座などで開講。地域行事への参加者数が増加し事業効果がみられる。</p>

企画財政課	大学などとの連携による学習支援事業	平成30年度には全国大学政策アカデミーのプログラムとしてインターン生による小学生への学習指導、令和元年度にはジュニアリーダー県外研修を実施したが、令和2年度以降は新型コロナの影響により実施できていない。
地域振興課	地区づくり活動への参加支援、まちづくり拠点（まちづくり情報銀行・まちづくり酒屋）の活用	まちづくり情報銀行やまちづくり酒屋において、まちづくり（株）イベントへの子ども達の参加など、まちづくり拠点を体験学習の場として活用。各地区においては、地区づくり補助金を活用した子どもと高齢者との交流会などが開催された。
■課 題		■次年度への展開
<p>【企画財政課】全国大学政策アカデミー実行委員会頼みの事業であったため、町独自の事業として展開するためには、児童・生徒のニーズの把握や教育委員会との連携が必要。</p> <p>【地域振興課】地区づくり活動への参加が見られない地区もある。</p>		<p>【企画財政課】熊本高等専門学校との事業実施（ものづくり体験や学校見学など）を検討しながら、他の教育機関との事業実施を模索する。</p> <p>【地域振興課】世代間の交流や子どもが参加しやすいような事業の展開を各地区に周知し、次世代への人材育成へとつなげていく。</p>

施策コード	P3303	
評 価	施策の体系	施策の方針
B	③身近な地域で生涯を通じて学習し、その成果を地域で活かせる仕組みや機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習環境の充実 ・国内外の交流機会の充実
■主な事業		■主な成果
生涯学習課	社会教育団体の育成、生涯学習活動の強化、文化協会活動（文化祭開催）支援業務、生涯学習講座実施	婦人会、子ども会、スポーツ協会、文化協会などの活動支援により社会教育団体を育成した。生涯学習講座では、高齢者を対象としたスマートフォン講座や子どもを対象としたキッズパソコン教室のほか、コロナ禍でのライフスタイル変化に合わせ、親子で楽しめる活動として「親子でキャンプ飯講座」、「秋の親子で星空観察会」等を開講した。
地域振興課	人材育成研修助成金交付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により研修への参加がない状況であった。
■課 題		■次年度への展開
<p>【生涯学習課】コロナ禍で受講者数や講座内容などが制限された。</p> <p>【地域振興課】利用者が少なく、またコロナ禍で研修に行くこと自体ができない状況であった。</p>		<p>【生涯学習課】屋外での活動や動画配信など、コロナ禍でも可能な活動を検討。</p> <p>【地域振興課】各種団体等に補助制度の活用を促す。</p>